

# 「ツキノワグマ」の出没にご注意ください

●クマによる人身被害を防止するためには、遭遇時にいかに対処するかではなく、遭遇しないために何をすべきかが最も重要です。

●クマに遭遇しないために、次のことに注意していただきますようお願いいたします。

## クマと遭遇しないために



### 1 クマに自分の存在を知らせてください。

- クマは、嗅覚や聴覚が人間より優れ、人の接近をいち早く察知し、人を避けますのでラジオや鈴などを携帯し、音を出して行動してください。
- 風や雨、川の音などで人の気配を察知できないことがあるので、過信は禁物です。

### 2 クマのいるところで行動しないでください。

- クマは、明るい場所を避けます。見通しのよい明るい場所で行動してください。
- クマの糞や足跡などを見つけたら、迂回するか、引き返してください。

### 3 朝方や夕方の外出は注意が必要です。

- クマは、人里近くへは、夕方に出てきて、朝方に帰ることが多いので、この時間帯に外出はできるだけ避けてください。この時間帯に外出する場合には、単独での行動は避け、ラジオや鈴などを携帯してください。
- 人家周辺でも出没もあり得ることから、決してよそ事と思わず、人家周辺でも常に周囲に細心の注意を払うように心がけてください。
- 特に、クマによる農作物等の被害歴がある場所での行動は危険です。

## それでも、クマに遭遇してしまったら

- 1 子グマに出会った時は、そっと立ち去ってください。
  - 見えなくても、**親グマが近く**にいます。
- 2 とにかく落ち着いてください。
  - クマまで距離があるようなら、**そっと立ち去って**ください。
  - 急に**大声を出さない**でください。大声を出したり、ものを投げつけたりすると、クマは興奮します。
  - クマから目を離さないようにして、できるだけ**ゆっくりと後退**してください。
  - 食べ物以外の持ち物や帽子、衣類などを静かに地面に置いて、クマの**注意をそらし**てください。
  - クマとの間に立木などの障害物をおける位置に移動できれば、突進を防ぐこともできます。
- 3 走って逃げないでください。
  - クマは、「逃げるものを追う」習性があるといわれています。背中を見せて逃げるなど、不要な刺激を与えることは危険です。  
**「死んだふり」は俗説**で効果がありません。
- 4 急所を守ってください。
  - 万が一、クマが威嚇行動の後、襲ってきた場合には、反撃することも考えられますが、力（走ることや木に登ることにおいても）ではクマの方が勝っています。
  - 確実な防御方法はありませんが、ダメージを最小限にするために、自分の首を両手でしっかり抱えてうずくまり、クマの攻撃をしのぐ方法が有効だともいわれています。

## 情報を提供してください

- 1 人家近く（人里）でクマを目撃した場合は、直ちに、市町村、最寄りの警察署又は総合事務所（八頭総合事務所を除く。）へ連絡してください。情報が多く集まれば、パトロールや集団登下校などの対策が迅速に実施できます。
- 2 提供していただきたい情報は、「場所」「時間」「大きさ」「何をしていたか」などです。

## その他

- 1 **人家のまわりに収穫物や生ゴミを、無造作に置いたり、捨てたりしないでください。**
- 2 キャンプ場などでは、ゴミの管理を徹底してください。
- 3 キャンプや登山、溪流釣りなどで出たゴミは必ず持ち帰ってください。
- 4 人家のまわりで収穫の予定のない柿等の実は撤去してください。
- 5 山野にある墓地の供え物等は持ち帰るようにしてください。

### 【お問い合わせ先】

鳥取県三朝町役場 農林課 農業振興係 電話 0858-43-3515  
総務課 危機管理局 電話 0858-43-3500